

インフォシス・パブリック・サービスとテキサス州 Family & Protective サービス部門、同州の児童福祉情報システムを改修

テキサス州オースティン(2017年3月8日) コンサルティング、テクノロジー、次世代サービスをグローバルに提供するインフォシスの米国子会社インフォシス・パブリック・サービス社は、テキサス州の IMPACT (Information Management Protecting Adults and Children of Texas) システム改修にあたり、Texas Department of Family & Protective Services (DFPS)とパートナー提携したことを発表しました。IMPACT は、ケース管理運営を行う一次システムであり、DFPS は児童福祉関連サービスを提供するにあたってこのシステムを使用しており、10,500 名を超える職員が、250 ヶ所にまたがる様々なロケーションからこのコアシステムにアクセスして業務を行い、1200 万人の児童、老人、 障害者にサービスを提供しています。

IMPACT 改修フェーズ 2 では、IMPACT システムを、児童保護サービス、成人保護サービス、保育資格、予防・早期介入プログラムの分野でモジュール化し、自動化ワークフローを備えたモバイル対応アプリを開発するとともにセルフサービス機能を搭載する予定です。これにより、ケースワーカーの作業効果と作業効率を向上し、業務の合理化を進めて管理業務の負担を削減し、その結果、彼らがより多くの時間をクライアントと過ごすことが可能になると考えています。

この改修プログラムの運用開始後も、IMPACT はテキサス州の業務、データセキュリティ、技術に関する要件を含め、連邦法である Automated Child Welfare Information System (SACWIS) 標準を引き続き遵守します。

今回のイニシアチブでは、以下のメリットがもたらされると予想しています。

ケースワーカーにとってより使い勝手の良いシステムの実現

業務プロセスの合理化及び調査にかかる所要時間の削減

日常業務やケースのトラッキング、上長や事務職員への承認手順等、手作業による業務プロセスの自動化

各家庭へ提供したサービスに関するデータの正確性、有用性、セキュリティの向上

アプリケーションの俊敏性の向上による、新規要件へのすばやい対応

引用

インフォシス・パブリック・サービス社のプレジデント兼 CEO の Eric Paternoster は次のように述べています。

「DFPS は、地域社会にとって生命線ともいえるリソースを提供しており、テキサス州の児童や老人、障が



い者を保護するために活動する一方で、州の児童が適切な養育を確実に受けられるよう取り組んでいます。IMPACT システムを改修することで、正確なデータへタイムリーにアクセスし、ケースワーカー達から収集したデータへの考察をさらに深め、法執行機関等の外部パートナーとより密接に連携することが可能となります。その結果、ケースワーカー達は、クライアントや家族にいち早く対応したり、より幅広いコミュニティを対象に活動できるようになるでしょう。つまり、テクノロジーの力を活用することで、DFPS スタッフはその可動性を高めて機能性を向上し、テキサス州民のニーズに対してさらに貢献できるようになるということです。

インフォシス・パブリック・サービス社について

インフォシス・パブリック・サービス(www.infosyspublicservices.com)は、インフォシス(NYSE: INFY)の北米子会社であり、ビジネス・コンサルティング、テクノロジー・ソリューション、次世代サービスのリーダーです。我々は、米国やカナダの公共部門や組織のパートナーとして、彼らがイノベーション・カーブでトップを走り続けられるよう支援しています。卓越した実行力と実証済みのベスト・プラクティスを融合した当社のソリューションで、お客様が生まれ変わりながらも、価値を創造する新たな方法を産み出すお手伝いをしています。

連絡先

インフォシス日本支店 マーケティングマネージャー

安藤 穰 mail: jo_ando@infosys.com